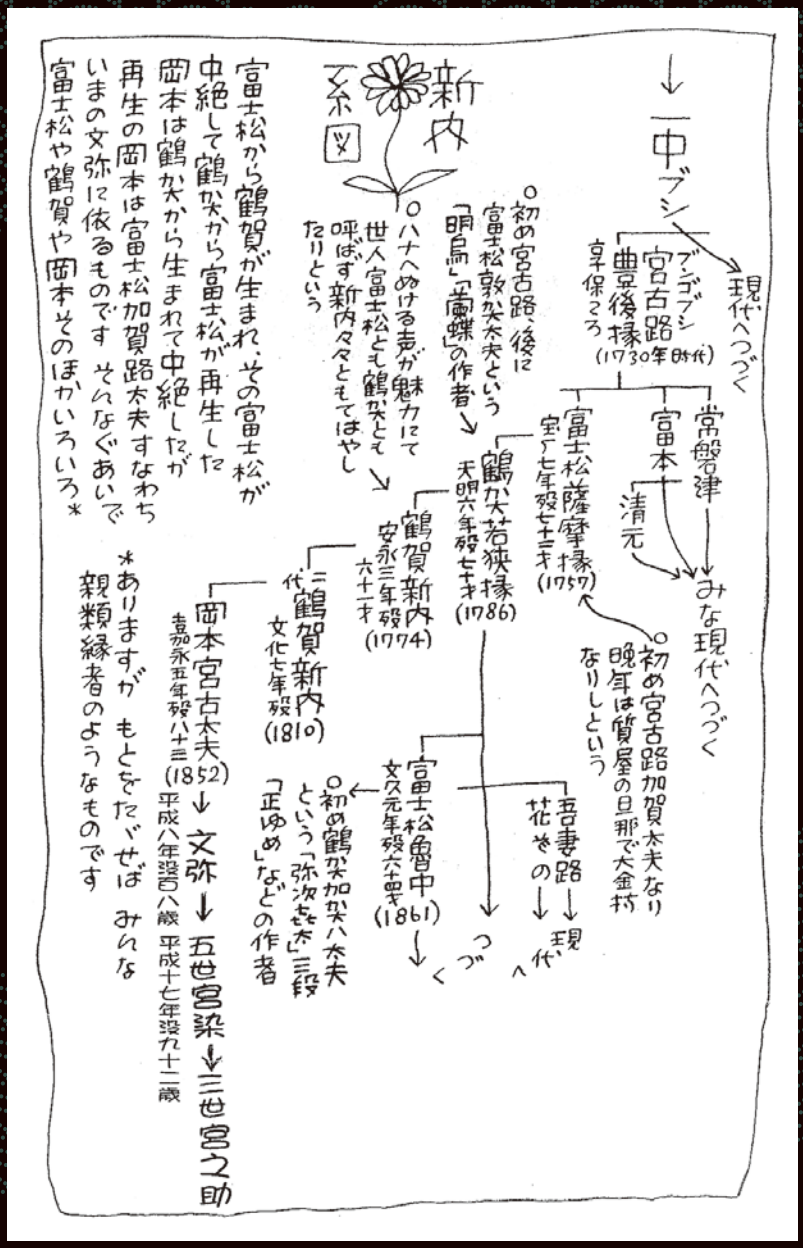
三世 岡本宮之助
（三世 岡本宮古太夫）

新内節・岡本流後継者として大叔父・岡本文弥、五世宮染に師事。岡本文弥と親交の深かった邦楽演奏家・平井澄子にも薫陶を受ける。岡本流以外では演奏不可能になった多くの浄瑠璃を正しく継承。「演奏しなければ無いも同然」をモットーに、ごまかしの無い演奏と保存に努力する。膨大な文弥作品と共に新内節普及に奮闘中。また新曲創作にも積極的に取り組む。創作依頼も多く、作品の評価も高い。演奏会、舞踊会、放送など出演多数。



岡本文弥編著『定本新内集』（一九六九）より 文弥自筆の新内系図（のちに文弥、五世宮染、三世宮之助を加筆）

新内節とは

新内節は扇情的とも評された京都発祥の豊後節の流れを汲み、江戸中期に鶴賀若狭掾とその美音の門弟・鶴賀新内によって確立された江戸浄瑠璃の一派です。早くから劇場を離れて素浄瑠璃として発展し、また、遊里を舞台とした「流し」と呼ばれる独特の演奏形式を生み出して人気を博しました。情感溢れる節回しで遊女の哀切や人情の機微を細やかに語る芸風は庶民に愛され続け、『蘭蝶』『明烏』が古典の名曲として知られています。

新内流し

新内と言えば、時代劇で花街や遊里を歩いていく〝新内流し〟の姿を思い浮かべる方も多いでしょう。地の三味線と上調子の二挺三味線で街頭をチンカラチンカラと流し、町家の軒先で立ったまま、呼ばれた時には座敷に上がって語る演奏形式。新内は〝流し〟を通して町の中で芸を聞かせ、町の人と親しくなっていったのでした。

2019年に続き3回目となる「新内節・岡本宮之助をきく会」。今回は良寛さまの逸話と歌を題材とした新作の初演を中心に、季節の情感と風物が物語の軸となる作品を古曲・新作取り混ぜて演奏します。

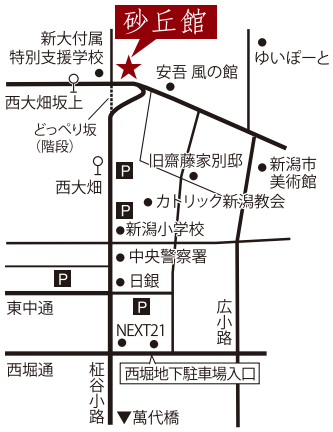
宮之助作曲の新作『良寛・窓の月』『良寛・手毬唄』は、岡本宮弥と交流があった新潟の琵琶の名手、故・五十嵐雅水師の琵琶歌を元に、良寛さまの世界を新内節で描く試み。『明烏夢泡雪』、『夜桜』は、遊郭の恋愛ドラマをそれぞれ雪・桜の風情に重ね合わせて綴る古典の名曲。『一茶』『芭蕉』は、俳句の切り詰めた季節感を新内節に生かした岡本文弥による小品。文弥作品『冬の夜話』は寂しい山里に住む老人の元に、ある夜一匹の古狸が訪れる心温まる物語。そして、今回は皆さまの無病息災を祈念して、新作『アマビエ』の演奏も行います。

新内節ならではの情緒溢れる語りの力で、共に佳き春を迎えましょう！

申込方法

希望日時、氏名、連絡先、参加人数を添えて左記にお申し込みください。

◆電話・FAX
025（222）2676
◆Eメール
yoyaku@bz04.plala.or.jp



砂丘館
旧日本銀行新潟支店長役宅
指定管理者：新潟絵屋・新潟ビルサービス特定共同企業体
新潟市中央区西大畑町5218-1 tel.025-222-2676

私たちは砂丘館の自主事業を応援しています。
雪国あられ 株式会社　NSGグループ　ISHIKAWA　新潟ビルサービス
丸屋本店　藤田金属　WIND　郷土の文化に親しむ会

アクセス：新潟駅万代口より浜浦町線C2系統または観光循環バス乗車「西大畑坂上」下車徒歩1分
※砂丘館には駐車場がありません。また、周辺の道路は駐車禁止です。公共交通機関をご利用ください。※新潟市西堀地下駐車場をご利用の方は駐車券提示にて1時間分の無料券を差し上げます。